

親育ち応援学習リーダー養成講座 基礎編

期日：平成27年6月25日(木)

会場：岡山県生涯学習センター

内容：説明「親育ち応援学習プログラムについて」

説明者：岡山県教育庁生涯学習課 職員

体験・講義「テーマにつなげるアイスブレイク」

講師：吉備国際大学 非常勤講師 高見博子

講義「地域における親育ち支援の必要性」

講師：岡山大学大学院教育学研究科准教授 横松友義

体験「親育ち応援学習プログラム(乳幼児期)」

講師：ほのぼの子育てほっとはあと 隅田浩美、伊藤家生、市村みみこ

講義「ファシリテーターの役割について」

講師：岡山教育事務所生涯学習課 職員



親育ち応援学習プログラムについて

この講座は、親育ち応援学習プログラムを進めるファシリテーターの役割を基礎編・実践編の2日間で学ぶものです。

県内の子育て支援センター、保育園、幼稚園、子育て支援団体、行政等から83名の方が参加し、小さなお子様を連れた方には託児を利用することもできました。

基礎編では、家庭教育支援の必要性と親育ち応援学習プログラムの特徴について学びました。皆さん、大変熱心に受講されていました。

アイスブレイクや親育ち応援学習プログラム体験では笑顔があふれ、ファシリテーターの役割について楽しんで学ぶことができたようです。



テーマにつなげるアイスブレイク

○参加者の声(アンケートから)

「ファシリテーターという言葉を今回初めて聞きました。親プロを体験することで、実際活動されているファシリテーターさんを間近で見ることができてとても参考になりました。親のつながり、地域のつながり、人と人のつながりの重要性を感じ、そのお手伝いをするファシリテーターという存在はとても素晴らしいと思いました。」



地域における親育ちの必要性



親育ち応援学習プログラム体験